

吉田誠夫 著

庾信——四賦注釈

哀江南賦

枯樹賦

小園賦

三月三日華林園馬射賦

A5・760頁 定価16,500円(本体15,000円+税10%)
ISBN978-4-8169-2923-6 2022年5月刊行

●六世紀、中国南北朝時代後期屈指の文人であった庾信(五二一〜五八二)の代表作「哀江南賦」「枯樹賦」「小園賦」「三月三日華林園馬射賦」の四賦について、逐語的に詳細な注釈をほどこした一冊です。

●清代の注釈書である倪璠の『庾子山集注』の成果をふまえつつ、初学者にも理解できるように基本的な故事来歴の説明やその原文も引用して解説。

●注釈の中では、庾信の他の作品も多数言及・引用。文人庾信の全貌を理解するためにも役立ちます。

「はしがき」より

本稿で扱った四つの賦は、以上の作品群に照らしてもわかるように全体を構成するごく一部にすぎない。しかし、「哀江南賦」では歴史の転換期にあつて時代とおのれの人生を緬い交ぜながら郷関の思いが述べられ、「枯樹賦」では異朝に仕えた者の虚ろな内面世界が象徴的にうたわれ、「小園賦」では隠逸の世界への志向が語られ、「三月三日華林園馬射賦」では北周武帝への讃歌が綴られるとともに、北周に仕えて生きようとする決意表明にも似た思念が示される、といったように庾信の全体像を考えるうえでそれぞれ重要な作品となっている。人間は矛盾の束であり多面的な存在であるといわれるが、この四賦は庾信作品から作りあげられた庾信の全体像のいくつかの側面を解き得る鍵として、庾信の代表作といっても過言ではあるまい。

「目次」

はしがき

凡例

『周書』庾信伝

滕王迥序箋注

哀江南賦注釈

枯樹賦注釈

小園賦注釈

三月三日華林園馬射賦注釈

梁朝王室(蕭氏)系図

参考文献

あとがき

●著者プロフィール

吉田 誠夫 よしだ・のぶお

1941年東京生まれ。二松学舎大学大学院文学研究科中国学専攻博士課程修了。みすず書房編集部、昂教育研究所、芝浦工業大学高等学校を経て、東日本国際大学講師、同大学儒学文化研究所副所長、2010年退職。2021年没。
編著書に『中国文学研究文献要覧 1945-1977 (戦後編)』([共編]日外アソシエーツ、1979年)、『漢字辞典』([共編]講談社、1998年)、『姜夔詞選』(芝浦工業大学・教員研究報告、平成8年度版)、『漢字のおさらい』(自由国民社、2012年)、『中国職官辞典 秦から南宋まで』(日外アソシエーツ、2020年)など。

2022.5

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

庾信—四賦注釈

哀江南賦・枯樹賦・小園賦・三月三日華林園馬射賦

定価16,500円(本体15,000円+税10%)

ISBN978-4-8169-2923-6

冊



9784816929236